

GIGAスクール推進に係る本年度の取組みについて

I ICTを活用した授業力の向上

今年度の取組

【教員研修】				
ねらい		研修名	実績	
実践事例の普及		Let's Try GIGA 授業	全6回 延べ96名参加	
ICT活用技能の向上		ICT活用推進研修	ICT支援員学校訪問サポート 重点サポート：13校 要請・計画サポート：全校 4人累計…延べ701回、2,301時間 (R7.2月末現在)	

| 【広域交流型オンライン学習】(小学校：希望校 中学校：志和、福富、豊栄、河内) | | | | |

校種	学年	期日	テーマ	実績
小学校	3年生	6/12(水)	市の様子 ～私たちのまちの「とっておきの写真」をとって発表しよう～	延べ 61校 113学級 2,906名 参加
		12/11(水)	事故や事件からまちを守る ～交番や駐在所の数は、このままでよいか！？～	
	4年生	9/11(水)	自然災害からくらしを守る ～防災訓練だけで備えは十分か！？～	
		2/12(水)	国際交流に取り組むまち ～外国人市民にも住みよいまちをつくる！！～	
	5年生	5/15(水)	特色ある地域と人々のくらし ～土地でできる作物を決めるのは自然の力、人の力？～	
		3/5(水)	環境をともに守る ～水俣病は昔の話か、他所事(よそごと)か～	
	6年生	7/3(水)	縄文のむらから古墳のくにへ ～大きなお墓、この価値を説明する鑑定書をつくろう～	
		1/15(水)	日本とつながりの深い国々 ～外国を理解するための視点を学び、韓国をより深く理解しよう！～	
	3～6年生	6/19(水)	ことばと学級づくり・地域づくり ～やさしい日本語の「やさしさ」とは？～	
		11/20(水)	「外国の言葉が上手」とはどういうこと？ ～みんなは外国語、話し上手？聞き上手？～	
		1/29(水)	みんなの言葉はあなたの言葉？ あなたの言葉もみんなの言葉？ ～わたしたちの町、何語を載せる？何を伝える？～	
中学校	1年生	5/14(木)	地理的な見方・考え方を学び、社会をより深く理解しよう！	延べ 11校 12学級 271名 参加
	2年生	7/9(火)	歴史的な見方・考え方とは何か、 それをどのように働かせることができるか	
	3年生	10/22(火)	デジタル化した坂出の新しい権利とは ～「忘れられる権利」について考えよう～	

※その他参加：校内特別支援教室(SSR)、フレンドスペース、SCHOOL“S”(スクールエス)
広島市、廿日市市、北海道、高知県、鹿児島県、韓国

【教員研修】

○ I・I 台端末の活用頻度の向上

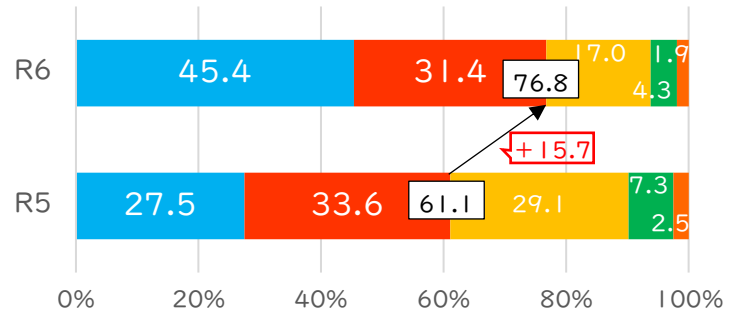
(令和6年度学校教育)

レベルアッププランアンケート)

「授業で、I・I 台端末を、
どの程度使っていますか。」

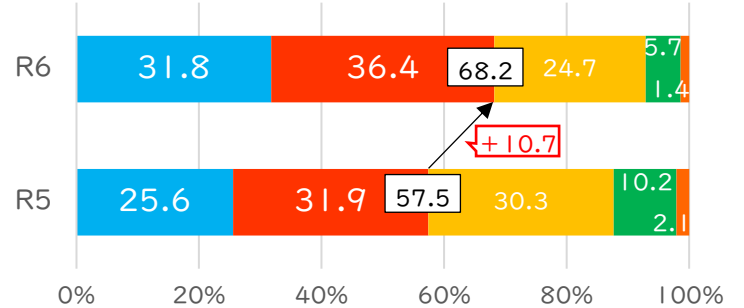
【小学校】5・6年生

■ほぼ毎日 ■週3回以上 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



【中学校】全学年

■ほぼ毎日 ■週3回以上 ■週1回以上 ■月1回以上 ■月1回未満



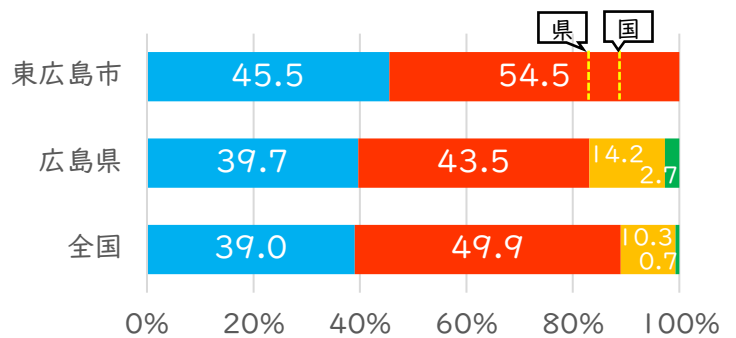
○ ICT 支援員によるサポートの充実

(令和6年度全国学力・学習状況調査学校質問紙)

「コンピュータなどの ICT 機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか」

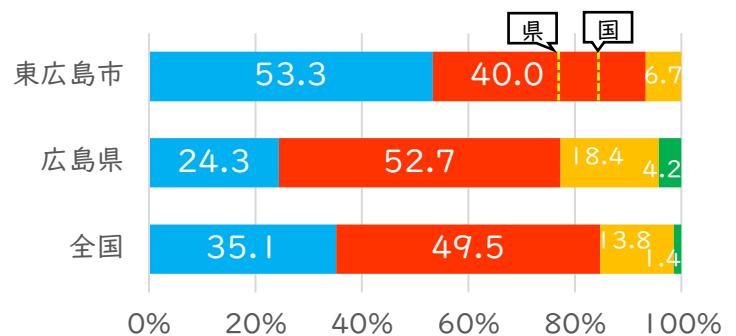
小学校

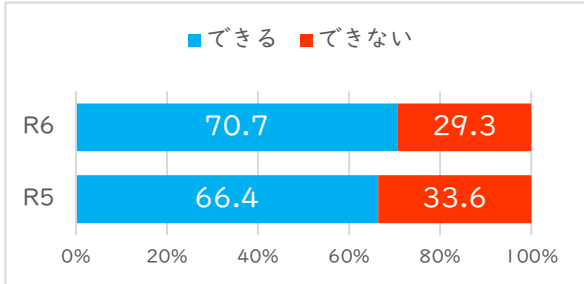
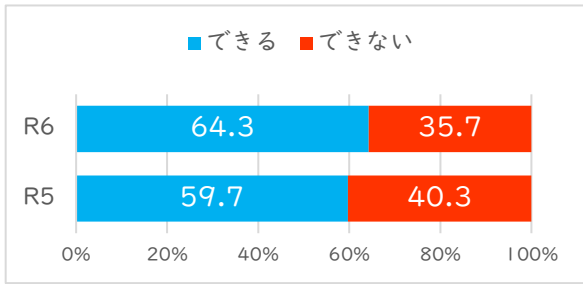
■ある ■どちらかといえば、ある ■どちらかといえば、ない ■ない



中学校

■ある ■どちらかといえば、ある ■どちらかといえば、ない ■ない



成果(○)と課題(●)	●クラウドを活用した指導 (R6年度 GIGA スクール構想推進に係るアンケート) 「Google ドライブにデータを保存する方法を指導することができる。」  ■できる ■できない <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>できる (%)</th> <th>できない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>70.7</td> <td>29.3</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>66.4</td> <td>33.6</td> </tr> </tbody> </table> 「協働学習ツールを使って、同時に編集させるための設定をすることができる。」  ■できる ■できない <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>できる (%)</th> <th>できない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R6</td> <td>64.3</td> <td>35.7</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>59.7</td> <td>40.3</td> </tr> </tbody> </table> 【広域交流型オンライン学習】 ○広域交流型オンライン学習への参加率の増加(R4：71.8%→R5：81.3%→R6：93.8%) ○他市、他県、他国等、学びの範囲の広がりによる多様な価値観、見方・考え方の共有 ●内容等の充実・拡充	学年	できる (%)	できない (%)	R6	70.7	29.3	R5	66.4	33.6	学年	できる (%)	できない (%)	R6	64.3	35.7	R5	59.7	40.3
学年	できる (%)	できない (%)																	
R6	70.7	29.3																	
R5	66.4	33.6																	
学年	できる (%)	できない (%)																	
R6	64.3	35.7																	
R5	59.7	40.3																	
次年度の取組	【教員研修】 ・研修の見直し →Let's Try GIGA 授業・・・クラウド活用に係る講義・演習型の研修の開催 →ICT 活用推進研修・・・ ICT 支援員による支援効果向上につなげる定期巡回強化 【広域交流型オンライン学習】 ・第3期 戦略的イノベーション創造プログラム ～ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築～の継続 →カリキュラムの開発、社会基盤の開発、AI 学習支援技術の開発																		

2 児童生徒の ICT 活用技術の向上

今年度の取組	【ICT 作品コンペ】		
	ねらい	児童生徒の ICT 活用に関する興味関心を高め、活用の推進を図ることで、ICT 活用能力を伸ばす。	
	実施について	部門・ブロック	
		プレゼンテーション部門	高学年 中学校 5月～11月
		プログラミング部門	高学年 中学校 夏季休業中
		デジタルアート部門	低学年 高学年 中学校 夏季休業中

※低学年
→小学校1～3年生
高学年
→小学校4～6年生

今年度の取組

【タイピング大会】

ねらい	児童生徒のタイピングスキルの向上を図る。		
実施について	参加資格	参加を希望する児童生徒のうち、大会参加基準(「プレイグラムタイピング」において、「はやさ」が 2.07／秒以上)をクリアした者。 ※「はやさ」 2.07／秒＝1 分間に 40 文字程度入力できる速さ	
	大会期間	第 1 回	令和 6 年 5 月 2 1 日（火）～令和 6 年 6 月 4 日（火） ※小学校 4 年生以上参加可
		第 2 回	令和 6 年 9 月 1 7 日（火）～令和 6 年 1 0 月 1 日（火） ※小学校 4 年生以上参加可
		第 3 回	令和 7 年 1 月 7 日（火）～令和 7 年 1 月 2 1 日（火） ※小学校 3 年生以上参加可

・参加実績

【ICT 作品コンペ】

部門・ブロック		参加校数(昨年度比)	応募作品数(昨年度比)
プレゼンテーション部門	高学年	5(+1)	4 3 6(+274)
	中学校	4(+1)	6 3(－139)
プログラミング部門	高学年	1 7(+2)	1 0 5(+38)
	中学校	3(+1)	3 8(+20)
デジタルアート部門	低学年	1 2(±0)	5 5(－68)
	高学年	7(±0)	3 3(+1)
	中学校	2(－2)	7 9(+61)

【タイピング大会】

	参加基準クリア数	
	小学校(昨年度比)	中学校(昨年度比)
第 1 回	24 校(+4) 677 人(+292)	9 校(+2) 182 人(+79)
第 2 回	29 校(+6) 1107 人(+533)	7 校(+1) 533 人(+439)
第 3 回	30 校(+2) 1442 人(+562)	8 校(+2) 598 人(+437)

○応募作品数、参加基準クリア数の増加
●取組に対する学校間格差

次年度の取組

・ ICT 作品コンペ、プレゼンテーション部門実施時期の見直し

・ 積極的な広報(Teams、情報教育広報紙 等)

・ 不参加校への声かけ